


施設名	広井波止場		 <p style="text-align: right;">引用: 秋田港湾事務所</p>							
所在地	秋田県 秋田市									
管理者等	秋田県									
施設種類・分野	港									
施設概要 (明治期との関連含む)	明治20年代には、大型西洋型帆船や汽船の時代に対応しうる港の整備(修築)が急務とされた。しかし、秋田港(当時は土崎港)は流下土砂や港口からの漂砂による埋没で水深が浅く、汽船の接岸が不可能であった。そこで、大型船の受入れ体制の確立を願い、土崎の青年有力者たち「築港運動」を進め、明治35年に広井勇博士の設計で「広井波止場」が完成した。(文献1より参照)									
築造時期	明治中期		時期詳細	竣工年: 明治35年						
関連人物	広井勇									
関連企業	-									
トピックス (特徴的エピソード)	広井博士による築港計画は、波止場のほか、河口突堤、航路浚渫などで、日露戦争の影響で中断したが、秋田港の近代化に大きく貢献した。(文献1より参照)									
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産 (土木学会)	○	文化財 (文化庁)	-	近代化産業遺産 (経産省)	-	世界遺産 (ユネスコ)	-	
その他 (関連資料、文献)	文献1: 土崎の史詩(土崎史談会、1992年3月発行) 文献2: 土木学会 選奨土木遺産解説シート (http://committees.jsce.or.jp/heritage/node/64)									
管理者等のHP (URL等)	秋田県 http://www.pref.akita.lg.jp/									